

保育理念

「にんげん力」を身につけるために必要な遊び、野外体験を提案実践し、“自分で考えて行動する力”を育みます。

保育目標

① センス・オブ・ワンダー

自然の中に沢山足を運び、自然の中での発見から、生死などの「環境認識」を。乳幼児期のうちから外遊びを「日常化」させることに重点を置き、子どもたちの「原体験」を大切に考えています。

② 人対人コミュニケーション

園外では「すれ違った全ての人」と挨拶を交わすことを園の約束としています。商店街ツアー、青空保育など地域交流行事を多く取り入れ、1人でも多くの「ひと」と挨拶を交わし、1つでも多くの「仕事」を目にすることで『物怖じせず誰とでも目を見て話ができる子ども』を育成します。

保育対象

朔望会グループに常勤及び短時間職員として勤務する者、また、それ以外で病院事務長が特に認めた者を保護者に持つ、生後2ヶ月から2歳までの児童。

定員14名（ブルーポピー保育園） **定員**19名（びおら保育園）

デイリープログラム

8:00 順次登園 自由遊び、片付け

8:15 水分補給・排泄

8:30 朝の会

9:00 散歩・体験活動・自然体験開始・泥遊び
畑仕事・生き物の世話→途中、水分補給

11:30 帰園・手洗い

昼食準備

11:45 昼食開始（1・2歳児）

→水分補給

(屋外給食)

着替え・歯磨き(1歳児の1月に開始)

12:30 午睡

14:30 起床・排泄・手洗い

15:00 おやつ・水分補給

15:30 午後の活動(外遊び・散歩)

17:00 片付け・水分補給・排泄

順次降園

18:15 閉園

施設長挨拶

【事業所内びおら保育園】

子育ては決して楽なことではありません。しかし、悩んで、悩んで答えがみえてきた時には本当に嬉しく、思わずわが子を抱きしめたくになります。親子は一生です。悩み迷う人はお母様お一人だけではありません。そのような時にちょっとだけ一緒に悩み、考えすっきりしましょう。そうすれば我が子と笑顔で向かい合えます。保育園は、お子様が楽しく元気に過ごす場所であることはもちろんですが、子育て支援の場として、保護者様のお力になれるような保育園でありたいと思います。

【事業所内ブルーポピー保育園】

当園では012歳児のお子様をお預かりしています。

小規模認可の事業所内保育園ではありますが、お子様をお預かりするだけでなく、お子様の人格形成や成長を重視し、地域、保護者、保育園が協力し合って子どもを育てる保育を大切にしたいと考えています。また保護者様が安心してお子様を預けることができ、お仕事に専念できる保育園運営を目指していきたいと思います。

保育プログラム名

内容

戸外遊び・散歩



雨が降っていない日は、午前・午後一日2回散歩に出かけることもあり、戸外で過ごす時間を少しでも多くとるようにしています。様々なものを目にすることで認識する力を育成し、公園内を歩くことで体力向上をめざしています。

畑の日



両園では畑をもっていないので、各施設の方の助言を頂きながらプランターで花や野菜を育てています。野菜を収穫した時には、おやつ材料として使い、今までに、ホットケーキ、お好み焼きで食べています。

遠足



毎月1回遠足の日があり、徒歩遠足の他、行き先に応じて、園バスにて片道15分位の所へ出掛けます。目的により行き先が決まっておりますが、いつもの散歩先より少し足を伸ばし歩いて行く遠足の日もあります。

商店街ツアー



地域のお店（スーパー・ホームセンター等）に行き、自分たちが食べるおやつを保育士と一緒に買いに行ったり、日頃、見守って下さっている交番のおまわりさんに、感謝の気持ちをこめて「いつもありがとうございます」と挨拶に行くこともあります。

青空保育



地域の公園でシートを敷きそこで紙芝居、本をみたりします。そこへ、地域の方が遊びに来ている時には声を掛け一緒に過ごす時間を心掛けています。



座禅、雑巾がけ

座禅は、朝の会の時に40秒から初めています。雑巾がけは夕方の時間に保育士がはじめると、2歳児は「ぼく（わたし）もやりたい」と自然とその機会を持てるようにしています。